Form No. 3374-410 Rev B

リチウムバッテリーチャージャ

Greensmaster® eFlex™® トラクションユニット用

モデル番号119-4300

オペレーターズマニュアル

安全に関わる重要な注意事項

危険—火災や感電事故を防止するために、以下の注意事項を必ずお守りください。

この説明書は捨てずに、保存してください。

このマニュアルには、バッテリーチャージャモデル 119-4300の安全および取り扱いに関わる重要な説明が掲載されています。

バッテリーチャージャを誤使用になる前に、本書の説明およびバッテリーチャージャ、バッテリー、ならびにそのバッテリーで駆動される機器に張ってある注意事項をお読みになってください。

⚠ 注意

人身事故の恐れを最小限にとどめるために、トロ 04232 eFlex タイプのリチウムイオン充電池以外にはこのチャージャを使用しないでください。他のタイプの電池を充電すると、破裂して機器の破損や人身事故の原因となる恐れがあります。

チャージャをコンセントに差し込む前に、電圧セレクタが正しい設定になっていることを確認してください。

- 米国内で使用する場合には、電圧設定を 120 V にしてください。米国外で使用する場合には、使用地域の実情に応じて 120 V 以外に設定しなければいけない場合があります。ご使用前に、その地域の電圧をご確認ください。
- 米国外で使用する場合には、必要に応じて付属の変換プラグをご使用ください。

概要

⚠これは危険警告記号です。この記号は人身事故の可能性を表す警告記号です。けがや死亡事故を防止するために、この記号のついている注意事項は必ずお守りください。

正しくない取り扱いをしたり、適切な保守を怠ったりすると、人身事故や死亡事故につながります。事故を防止のために以下のすべての安全注意事項を必ずお守りください

⚠ 注意

トロの eFLEX 歩行型グリーンモア以外のバッテリーを充電すると、異常に発熱するなどして機器に不具合が発生したり設備や建物が損傷したり人身事故がとなる事故が起こる恐れがあります。

⚠ 注意

また、TORO 04232 リチウムイオン電池パックをこのチャージャ以外の充電装置で充電すると、異常に発熱するなどして機器に不具合が発生したり設備や建物が損傷したり人身事故がとなる事故が起こる恐れがあります。

- **これらの注意を遵守しないと、人身事故、火災、感電などの事故が発生する恐れがあります。**
- チャージャを水でぬらさないでください雨や雪が掛からない場所に置いてください。
- トロが発売していない、または推奨していないアクセサリを使用すると、火災、感電その他の人身事故が起こる恐れがあります。
- バッテリーパックの爆発などの事故を防止するために、本書に書かれている注意事項、バッテリーパックで駆動する機械の*オペレーターズマニュアル*、並びにこのチャージャの周囲においてある機械装置の取り扱い説明書に書かれている注意事項をお守りください。また、それらの機器に表示されている注意事項を必ずお守りください。

トレーニング

- この製品は、身体機能、感覚機能、精神機能が十分でない人々子供を含みますや、経験・知識のない人々が使用することを前提として設計製造されている製品ではありませんから、もしこういった方々がこの製品を使用する場合には、安全に責任を負うことのできる方が、このリチウムイオンバッテリーチャージャの取り扱いについて適切な始動講習を行うか、責任者の監督指示のもとで使用を行うようにしてください。
- ご使用になる前に全部の注意事項に目を通し、チャージャの取り扱いに際してはそれらの注意事項を必ず守ってください。各部の操作方法や本機の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。緊急時などにチャージャをすぐに停止させる手順を覚えてください。

⚠ 注意

爆発性ガスの危険まれにではありますが、バッテリーパックを著しく過充電すると爆発性のガスが発生することがあります。このチャージャの取り扱い方法、バッテリーの取り扱い方法、また周囲の機器の取り扱い方法を守ることが重要です。

運転の前に

- **無用の人物、特に子供を、周囲に近づけないでください** 作業エリアから十分に離れてもらいましょう。
- **適切な服装で取り扱ってください** だぶついた衣服やアクセサリを身に着けないでください。チャージャを取り扱う時にはゴム底の靴をはいてください。
- バッテリーパックをチャージャに接続する際には、まず電池を搭載している機械の電源スイッチを OFF にし、機器の電気回路

© 2014—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3374-410 B

が完全に停止するよう 5 秒間の待ち時間をとってください。この注意を守らないとアークが発生する危険があります。

- 充填中は、室内を十分に換気してください。
- バッテリーパックのメーカーが発表している充電時の注意事項をよく読み、それに従って充電手順を進めるようにしてください。
- このチャージャは、通常のAC 120 および 240 ボルト用の充電装置であり、付属のアースプラグは 120 ボルト用です。240 ボルトで使用する場合には、弊社正規代理店にご確認の上、適切な電源コードをご使用ください。

⚠ 注意

火災や感電の危険チャージャは、アース端子付きの三又コンセントに直接接続してご使用ください。アースされていないコンセントやアダプタを介してのご使用はお控えください。

運転操作

- **一般的な注意事項**
  - 凍結したバッテリーは、**絶対に**充電しないでください。
  - **コードは丁寧に取り扱ってください** コードを持ってチャージャをぶら下げたり、コンセントから外すときにコードを持って引き抜いたりしないでください。コードを高温下においたり、オイルで汚したり、刃物の近くに置いたりしないでください。
  - ケースをこわさないようにしてください。
  - チャージャを持ち運ぶ際には足元に十分注意し、ケースの取っ手をしっかりと握ってください。また、絶対に走らないでください。滑ったり転んだりしないように注意してください。
- **人身事故防止のための注意事項**

⚠ 危険

付属のコードは絶対に改造しないでください。コンセントに合わない場合は、資格のある電気工事技術者が適切なコンセントを取りつけるまでご使用を控えてください。不適切な接続は感電事故の原因となります。

  - ゴーグルなどの視覚保護具と、適切な作業着を着用してください。
  - バッテリーパックの電解液が万一皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに水で洗い流し、石鹸で洗ってすすいでください。万が一にも、電解液が目に入った場合には、直ちに大量の流水で少なくとも十分以上の時間をかけて洗い流し、その後にすぐに緊急医療措置を受けてください。
  - バッテリーの近くでは**絶対に** 禁煙を守り、火花や裸火も近づけないでください。
  - また、バッテリーの上に工具など金属製の製品を落とさないように十分に注意してください。万一これらの金属製品によってバッテリーをショートさせると、爆発する恐れがあります。
  - 指輪、ブレスレット、ネックレス、腕時計などの金属製品を身に着けての作業は危険ですからおやめください。リチウムイオン電池パックは非常に大きなエネルギーを蓄えており大火傷を負う危険があります。
  - **このチャージャは、トロのEフレックス歩行型グリーンモアのオペレーターズマニュアルで説明されている通り、Eフレックスに使用されているリチウムイオン電池の充電にのみご使用ください。** 他の目的には使用しないでください。
- **場所について**
  - 十分な明るさが確保されていない場所では絶対に使用しないでください。
  - 換気のよい開放的な場所で使用してください。
- **出力用接続についての注意事項**
  - バッテリーパックとチャージャの接続および取り外しは、必ずチャージャのコンセントを抜いた状態で行ってください絶対に、コネクタの端部についているくぼみ付きピンに、金属製品を触れさせないないでください。
  - チャージャとバッテリーの接続と切り離しは、かならずこのマニュアルに記載されている手順に従って行ってください。
- **電源接続についての注意事項**
  - **アース** 感電事故を防止するため、チャージャはアースして使用してください。このチャージャに付属している電気コードはアース端子付きですので、各地域の法令規制に従って正しくアースされているコンセントに差し込めば、チャージャを適正にアースすることができます。

⚠ 注意

火災や感電の危険チャージャは、アース端子付きの三又コンセントに直接接続してご使用ください。アースされていないコンセントやアダプタを介してのご使用はお控えください。

  - どうしても必要な時以外には、延長コードは使用しないでください。不適切な延長コードは、火災や感電の原因となります。延長コードを使用しなければならない場合には以下のことをお守りください
    - ◊ 延長コードのピンの数、大きさ、形状がチャージャのコードのものと一致していること。
    - ◊ 延長コードが正しく配線・絶縁されたものであり、適切な電気的条件に置かれていること。
    - ◊ 延長コードの定格電流・電圧が、以下の表に示す交流電源使用にあったものであること。

AC 電源入力定格		導線の太さ最小ゲージA.W.G.			
最小	最大	コードの長さ			
		7.6 m	15.2 m	30.5 m	45.6 m
4 A	5 A	18	18	14	12

  - チャージャをコンセントに差し込む前に、チャージャの電源が OFF になっていることを確認してください。
  - コンセントに差し込まれている間にコードに傷が付いた場合には、コンセントから抜きとり、弊社サービスディーラから代わりのコードを購入してください。
  - **以下の場合はチャージャをコンセントから抜いてください** 使用していないとき、チャージャを別の場所に移動するとき、チャージャに整備作業を施すとき。
  - 電源コンセントから抜くときは、必ずコードではなくプラグを持って引き抜くようにし、コードやプラグを破損から守ってください。

保守整備と格納保管

⚠ 注意

感電の危険有資格者以外の人は、このチャージャの整備作業を行わないでください。

使用していないチャージャは屋内に保管してください。チャージャを使用していない時には、乾燥した室内において、無用の人がみだりに手を触れる危険のない場所に保管してください。

チャージャはていねいに取り扱ってください。

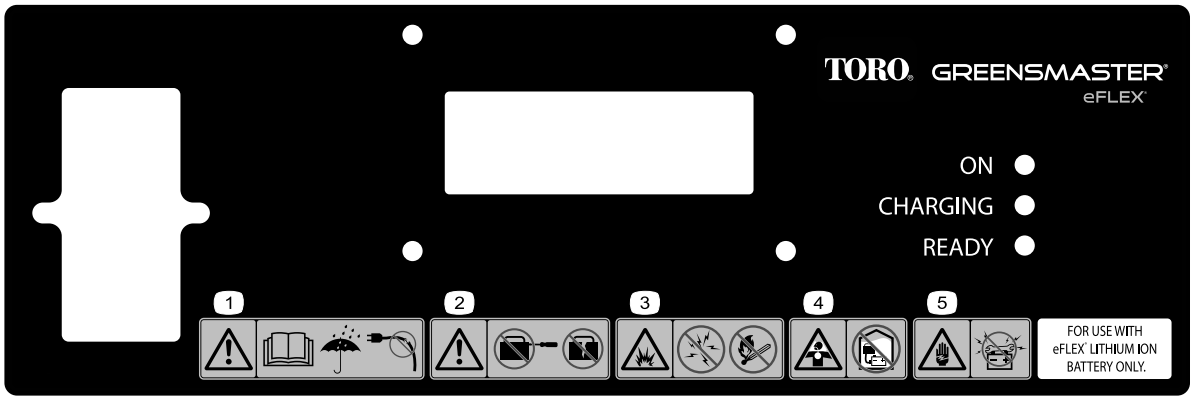
交換部品 チャージャの交換部品は必ず元の部品と同じものを使用してください。

- 整備や修理が必要になった場合には、トロ正規ディストリビュータにご連絡ください。

- チャージャを分解しないでください組み立てを間違うと感電や火災を引き起こす危険があります。
- チャージャの整備や清掃を行う場合には、感電防止のために、必ずコンセントから抜いてください電源スイッチを切っただけでは感電を防止することはできません。
- チャージャが常に安全な状態で使用できるよう、ねじなどにゆるみが出ていないことを時々点検してください。
- 長期間にわたって保管する場合には、いつも *オペレーターズマニュアル* をお読みになって保管上の注意をお守りください。
- 機体に貼ってある安全ステッカーなどが汚れたり読めなくなった場合には新しいものに貼り替えてください。
- 傷ついたコードやプラグは直ちに交換してください。コードやプラグが傷ついたままでチャージャを使用しないでください。
- チャージャに激しく物が当たったり、チャージャを落としたり、その他の強い衝撃が加わった場合には、チャージャの使用を中止し、トロのディストリビュータに検査を依頼してください。

安全ラベルと指示ラベル

以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



121–4653

1. 警告 *オペレーターズマニュアル* を読むこと 装置をぬらさないこと損傷した電気コードを使用しないこと。
2. 警告 バッテリーチャージャのカバーを外さないことバッテリーチャージャを分解しないこと。
3. 爆発の危険火気厳禁禁煙厳守火花を出さない、裸火を使用しないこと。
4. 有毒ガスを吸い込む危険閉めきった屋内で充電しないこと。
5. 感電の危険 整備時に、端子間をショートさせる可能性のある工具を使用しないこと。

組み立て

1

チャージャの電圧設定を確認する

必要なパーツはありません。

手順

1. 電源コードソケットの下についているヒューズトレイの向きを見て、チャージャの現在の電圧設定が、使用場所の電圧と同じ設定になっていることを確認する図 1。

   注 図 1 は、110–120 V にセットされた状態を示しています。

   重要 正しい電圧設定で使わないとチャージャやバッテリーを破損したり機能を損なったりします。

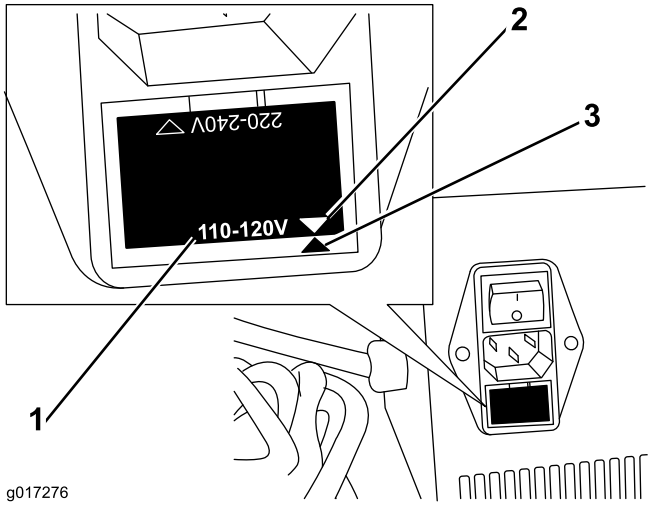


図 1

1. 電圧設定
2. ヒューズトレイの電圧表示矢印
3. ヒューズトレイホルダーの合印

2. 電圧設定を変更する必要がある場合には、中サイズのマイナスドライバを使用してヒューズトレイを外す。
3. そして、ヒューズトレイの上下を逆にして、ヒューズトレイの合印とトレイホルダーの合印が合うように向きを揃える図 1。
4. ヒューズトレイに軽い圧力を掛けてホルダーにゆっくり完全に押し込む。

2

チャージャを壁に取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

チャージャの背面には壁掛け用のキーホールが付いていますので、壁に取り付けることができます。壁掛け用に使用できる適当なねじを入手してください。ねじは、シャフトの直径が 6 mm 程度、頭部の直径が 11 mm 程度あるものを選んでください。

重要 作業場所の中で、取り付け場所として最も適当な場所を選んでください。

運転操作

チャージャは、たとえば冬期の保管中のような長期間であっても無人状態で使用することを前提に設計されています。

重要 バッテリーパックの温度制限については、トラクションユニットとバッテリーの*オペレーターズマニュアル*を参照してください。

製品の概要

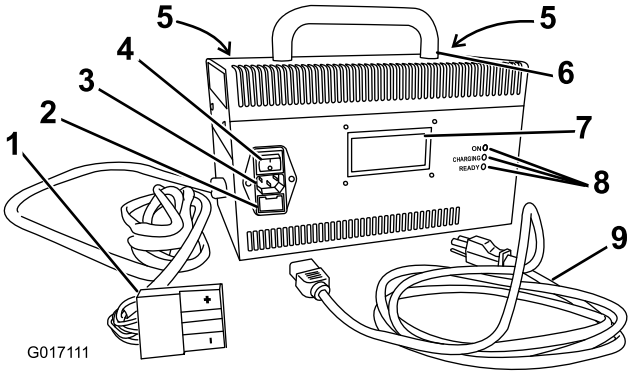


図 2

1. 出力コネクタとコード
2. ヒューズトレイ
3. 入力電源ソケット
4. 電源スイッチ
5. 壁掛け用キーホール
6. ハンドル
7. LCDメッセージディスプレイ
8. LED 状態表示ランプ
9. 電源コード

電源に接続する

感電事故を防止するため、このチャージャではアース付き3又プラグを使用しています。コンセントに合わない場合は、資格のある電気工事技術者に依頼して適切なコンセントを取りつけてください。チャージャや電源コードを改変しないでください。

⚠ 危険

チャージャを使用中に水に触れると感電する恐れがあり、最悪の場合死亡します。ぬれた手でプラグやチャージャを操作したり、水たまりに立って操作することは絶対にしないでください。

重要 電源コードの絶縁被覆に割れや穴ができていないか、時々点検してください。破損しているコードは使用しないでください。水溜りの上やぬれた芝生の上にコードを引かないでください。

1. チャージャの電源スイッチが OFF であることを確認する図 3。

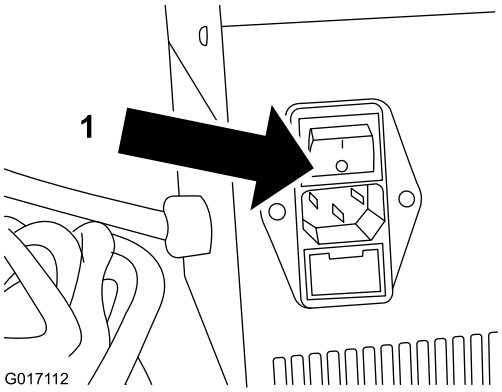


図 3

1. 電源スイッチを OFF にする

2. 電源コードのプラグをチャージャのソケットに差し込む。

⚠ 警告

破損したコードを使用すると感電や火災の原因になります。

チャージャを使用する前に、電源コードを十分に点検してください。もしコードが破損していた場合には、新しいコードを入手するまでチャージャを使用しないでください。

3. 電源コードのコンセント側のプラグを、アース付きコンセントに差し込む。

バッテリーを充電する

⚠ 危険

不適切な方法でバッテリーを充電すると危険です。適切な訓練を受けていない人にはこの装置を操作させないでください。この装置を使用する前に、このマニュアルの最初にある安全のための注意事項を読んで十分に理解してください。また、このマニュアルをいつもチャージャの近くに保管してください。

1. e-フレックスを、所定の充電場所一昼夜連続充電用として事前に決められた場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける図 4。

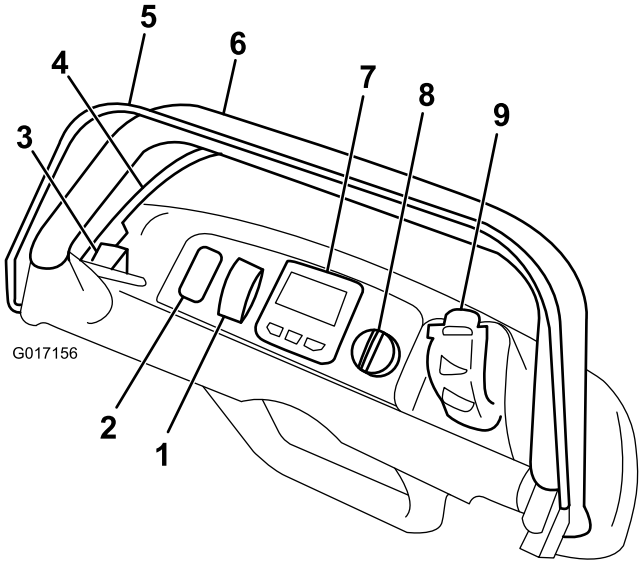


図 4

1. イージーターン・スイッチ
2. ライトオプション用のスペース
3. 駐車ブレーキのラッチ
4. 常用ブレーキ
5. オペレータコントロール
6. ハンドル
7. インフォセンターLCDディスプレイ
8. キースイッチ
9. 速度コントロール

3. キーを OFF 位置に回す図 3。
4. チャージャの電源スイッチが OFF であることを確認する図 5。

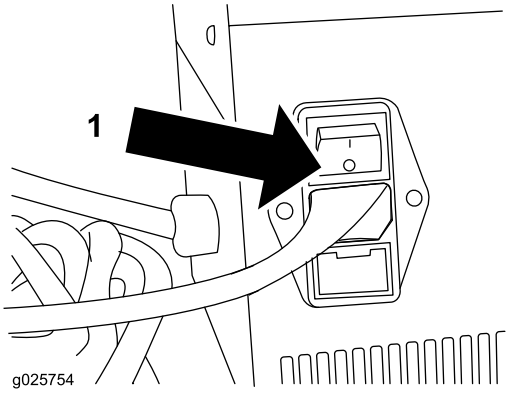


図 5

1. 電源スイッチを OFF にする

注 チャージャの電源は、充電開始前にOFFにしておくことが必要です。これを行わないとチャージャはバッテリーが接続されていることを認識せず、充電が開始されません。

5. バッテリートレイに固定されているメインバッテリー・コネクタから、e-フレックスの T-字コネクタを引き抜く図 6。

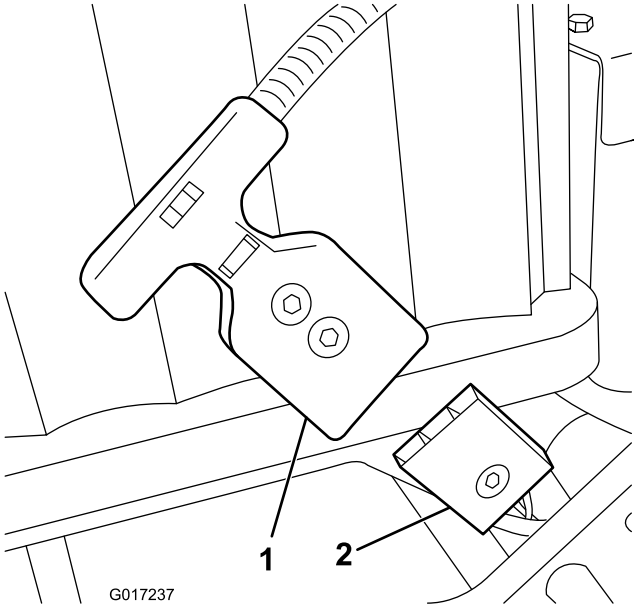


図 6

1. T字コネクタ
2. バッテリープラットフォームにある主電源コネクタ

6. バッテリーパックとチャージャのコネクタの両方をきれいにする。

   重要 コネクタのプラスチックが軟化して強度が低下しますから、強い溶剤での清掃は避けてください。コネクタやバッテリーの導通部分に誘電性のグリスを使用しないでください。

7. プラス側のコネクタ印が付いている同士を接続し、ロックするまで押し込む。
8. チャージャのスイッチを入れる図 7。ON ランプが点灯する。

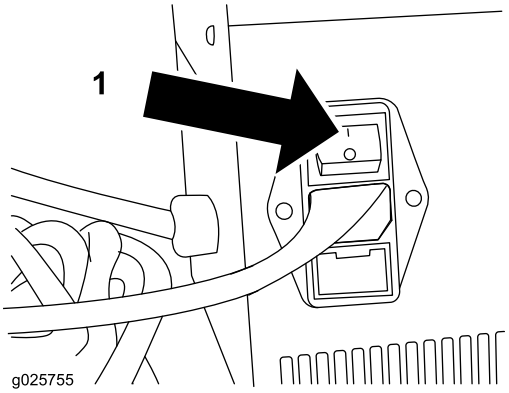


図 7

1. 電源スイッチを押して ON にする

9. LCD メッセージディスプレイに、バッテリー接続確認が表示される図 8。

図 8

10. LCD メッセージディスプレイに、充電中State 3, CHARGINGと表示されるのを待つ図 9。充電中表示 LED が点灯する。

    注 以上で充電操作は終了。バッテリーパックから離れてよい。

図 9

- XX.XV = バッテリー電圧
- XX.X% = 充電状態SOC
- X.XA = 充電電流

11. 図 10、図 11、図 12などにあるようなメッセージが表示される場合は何らかの不具合が発生している可能性がある。READY LED が点滅する。
    - ステップ 4 に進む。
    - コネクタのピンに汚れ、サビがないか、位置曲がっていたりはみ出ていたりしないかを確認。
    - もう一度充電操作をやり直す。

    再びエラーが表示される場合には、代理店に連絡する。

図 10

図 11

図 12

⚠ 警告

充電中に周囲に作業員などがいて作業にあたっている場合には、見張り人をつけて、このマニュアルに記載されている充電中の安全注意事項が確実に守られるようにしてください。見張り員は

- **周囲の人や機械が近くに来ないように見張りを行い**
- **危険な行動や危険な作業を行わせないように監視し**
- **チャージャの近くやバッテリーパックの近くでこれらに物がぶつかったり、これらを倒したりするような行動をさせないようにし**
- **バッテリーパックやチャージャの近くで火花や火炎が発生するような、あるいはバッテリーパックやチャージャに向けて水が散布されるような作業や機械の操作をさせないようにしてください。**

充電状態を知るには

充電中は、LCD 状態表示ディスプレイが充電状態を表示します。ほとんどは通常表示です。

注 万一不具合が発生した場合には、状態表示 LED が点滅して 図 10、図 11、図 12のうちのどれかのメッセージが表示されます。この場合には代理店に連絡してください。

充電の終了

充電が終了すると、2つのメッセージのうちのどちらかが表示されます。いずれの場合も、マシンは使用することができます。

State 4, STANDBY というメッセージが表示された場合は、図 13 に示されているように、バッテリーが完全に充電され、スタンバイ状態に入ったことを表します。

図 13

State 4, Cell Balance/Pack OK to use というメッセージは、バッテリーがセルバランス調整を実施中であることを示します。これは、バッテリーの能力を最大化させ、かつバッテリーパックの寿命を延ばすための内部調整です。 充電状態State of Charge (SOC) は98-100%となります。

注 バッテリーをチャージャに接続したままで24時間以上放置すると“HIBERNATE”冬眠中というメッセージが表示され低パワー状態となります。

チャージャから外せば、バッテリーを通常通りに使用することができます。

長期間の格納に際してのバッテリーパックの充電にかかわる詳しい手順についてはトラクションユニットのオペレーターズマニュアル を参照してください。

チャージャからの切り離し

1. チャージャに表示される SOC充電状態の数値を確認してください。
2. チャージャの電源を切る。
3. バッテリートレイに固定されているメインバッテリー・コネクタから、e-フレックスの T-字コネクタを外す。

   重要 ケーブルを持って引っ張らないこと。
4. チャージャ用 T-字ハンドルを格納位置に収納する。
5. e-フレックスのT-字ハンドルとバッテリーパックのコネクタに汚れがないことを確認する。
6. e-フレックスのT-字ハンドルをバッテリーパックのコネクタに接続する図 14。

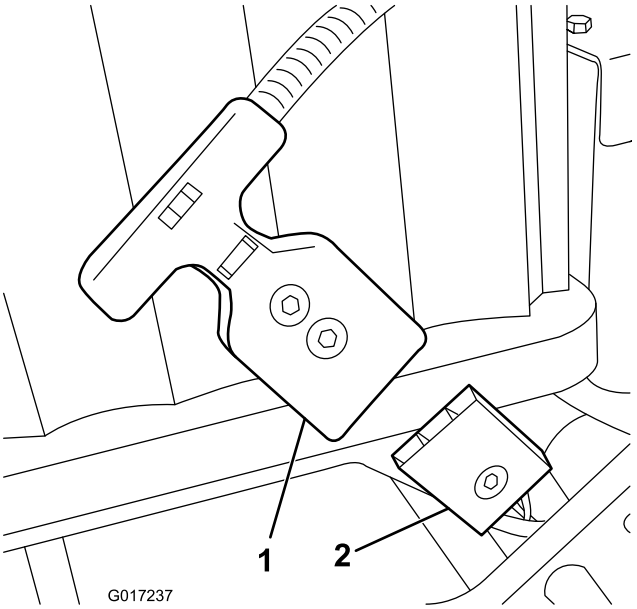


図 14

1. T字コネクタ
2. バッテリープラットフォームにある主電源コネクタ

7. e-フレックスの電源を入れオペレーターズマニュアルを参照、インフォセンターに表示されるバッテリー電圧が、先ほどチャージャーの表示画面に表示されていた電圧と同じであることを確認する。

   注 充電前にチャージャの電源をOFFにしておかないと、チャージャはバッテリーが接続されていることを認識せず、充電が開始されません。

保守

重要 電気修理はすべて正規代理店にお任せください。

ユーザーにしていただける保守は、野外に放置しないこと、衝撃を与えないことなど、丁寧に取り扱っていただくこと以外にはありません。

コードの保守

- 使用ごとに、わずかに湿らせたウェスでコードを丁寧に拭いてください。
- 使用しない時はコードを巻いて保管してください。
- 定期的にコードを点検し、破損を発見した場合にはトロの正規交換部品のコードに交換してください。

ヒューズの交換

チャージャが作動しなくなった場合には、コードソケットの下にあるヒューズを点検してください図 1。ヒューズが飛んでいた場合には、同じ定格のヒューズに交換してください。ヒューズを取り付ける時には、使用する電圧設定に合った方向に取り付けてください。

ケースの清掃

使用ごとに、わずかに湿らせたウェスでケースを丁寧に拭いてください。

整備

このチャージャはソリッドステート製品であり、本マニュアルの記載に従って通常に使用している場合は特別なメンテナンスは必要ありません。万一、整備・修理が必要になった場合には、トロの正規代理店にご相談ください。トロ社の正規代理店でないサービスセンターなどで修理を行った場合、本機に接続する製品を破損させるなどの事故が発生する恐れがあり、また製品保証も適用されなくなります。

保管

1. チャージャからの切り離し (ページ 7) に記載されている作業を行う。
2. チャージャに接続されている電源コードをはずし、きちんと巻く。
3. 電源コードに破損や破損の兆候がないか、十分に点検する。もし過度な磨耗や破損が見られた場合は新しいものに交換する。
4. チャージャ各部に磨耗、ゆるみ、破損が発生していないか、十分に点検する。修理や部品交換が必要な場合には、正規パーツディーラに連絡する。
5. チャージャと電源コードを、乾燥した清潔な場所衝撃を受けないこと、また、有毒ガスなどにさらされないことが必要に保管する。

メモ

メモ

メモ

Toro 製品の総合品質保証

限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「 製品 」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。 この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「 製品 」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「 製品 」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「 製品 」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 or 800–952–2740
E-mail: commercial.warrnty@toro.com

オーナーの責任

「 製品 」のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクサセリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。*オペレーターズマニュアル* に記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「 製品 」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「 汚れや傷 」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「 部品 」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオン・バッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。 バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。
注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額逓減方式となります。さらに詳しい情報については、*オペレーターズマニュアル* をご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「 製品 」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。